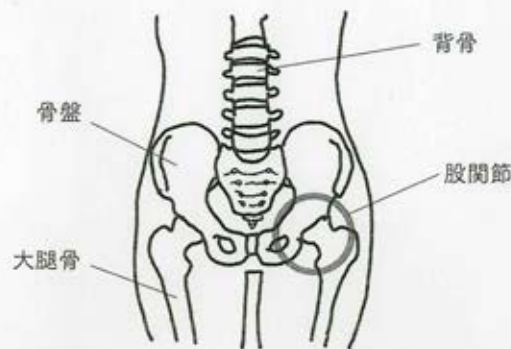
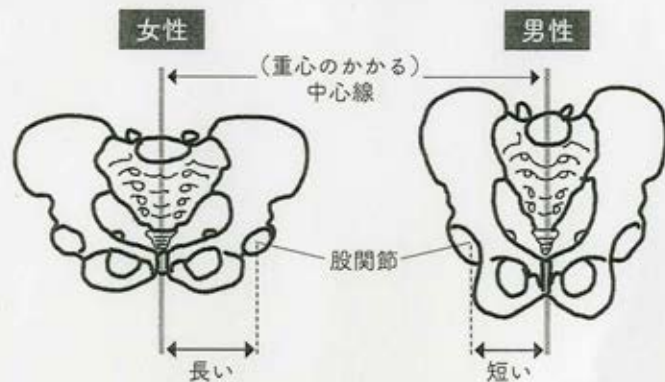


## 股関節の位置



## 骨盤と股関節の男女差



女性の骨盤は幅が広いので、重心から股関節までの距離が長い。そのため、股関節に大きな負荷がかかりやすくなる。

## 変形性股関節症の9割以上が女性

変形性股関節症とは、骨盤と大腿骨だいたいこつのジョイント部分にある股関節の軟骨がすり減ったり、骨が変形したり、壊れたりする病気です。骨が壊れると、股関節を動かすときに痛みを感じるようになり、骨の破壊や変形が進行すればその痛みもひどくなり、場合によっては歩行や日常生活が困難になることもあります。

この病気が圧倒的に女性に多く見られるのが特徴で、全体の9割以上は女性です。特に、50代から60代にかけて患者数が増える傾向にあります。

## 女性の骨盤の構造が股関節に負担をかける

では、なぜ変形性股関節症は女性に多いのでしょうか。それは、女性特有の骨盤・股関節の形状にあります。女性の特徴のひとつは、股関節の位置が骨盤の中心部（重心のかかるところ）から遠いということです。女性の体には産道があるために、骨盤の形が男性と比べると横に広がっています。そのぶん、中心から股関節ま